

地域における

長崎大学の取り組み

サイエンスワールド

土木の日関連事業

「メカライフの世界」展

サイエンスワールド 2008in対馬

平成20年11月8日(土)
対馬市美津島町民体育館、
対馬市美津島文化会館



水産学部の練習船・長崎丸。学生たちも通信設備など船のサイエンスにふれながら対馬へ渡りました。

教育学部が中心になって平成15年から活動している「サイエンスワールド」。「科学・技術・芸術」をテーマにした展示や演習・実験・ワークショップ、ミニ講演会など、盛り沢山の企画を各地で催しています。今回、学生・教授らは水産学部の練習船「長崎丸」で対馬に渡り、島の子どもたちにサイエンスの面白さを伝えました。

土木の日関連事業 DOVOC フェア2008

11月18日の「土木の日」にちなんで、国・県・市などの土木関係機関が協力して、「土木」の理解と関心を深めるためのさまざまな催しを行う「DOVOCフェア」。長崎大学工学部も社会開発工学科と構造工学科が中心となって毎年参加。今回は「長崎DOVOCさるく」、テクノパワー土木おもしろ体験隊を実施しました。

長崎DOVOCさるく

平成20年11月8日(土)

一般コース

工学部の岡林隆敏教授の案内で、眼鏡橋が架かる中島川の橋など江戸時代から昭和にかけて造られた橋を巡りながら、土木技術の変遷にふれるコース。

ファミリーコース

工事中の道路、浦上川線沿いを長崎港へ向けて歩き、大きく様子が変わってきているこの一帯を見学するコース。工学部の夢田(ただ)彰秀教授が、時代ごとの表情を古地図と照らしあわせながら説明しました。



一般コースの終点、出島橋をバックに

テクノパワー 土木おもしろ体験隊

平成20年11月9日(日)

長崎大学中部講堂前広場

生活に欠かせない道路や橋、ダムなどを造っているさまざまな土木技術について、楽しく学べる各種体験コーナーや、話題の乗りもの「セグウェイ」や建設機械の体験試乗会も行いました。



工事現場を歩くファミリーコースはヘルメット着用



川や海の水の比重の違いを示す実験



砂地盤の液状化実験



パワーショベルの体験試乗会



「ナイロンをつくってみよう!」のコーナー(感性科学ゾーン)



「物質とは」のコーナー(物質科学ゾーン)



こんなにたくさんの子どもたちが参加

身のまわりの「ふしぎ」を発見! 「学びのタネ」がいっぱい!



ワークショップ「楽しいふしぎな数独パズル」



「タネのふしぎ」のコーナー(生命・健康ゾーン)

最近よく耳にする、子どもたちの理工系離れ。その対策として長崎大学では、地域の子どもたちとふれあいながら理工系の面白さを伝え、関心や興味を持ってもらう取り組みを行っています。昨年、秋に行われた3つの催しをご紹介します。

2008年度 「メカライフの世界」展

～遊びの中から機械のしくみを体験しよう～

工学部機械システム工学科の学生が作った機械工学に関する「もの」を使って子どもたち(小学生以上)に遊びの中から機械の構造や原理を体験・理解してもらおうという取り組みです。今年約160人(保護者も含む)が来場。「楽しかった」「また来年も来たい」という声が多く聞かれました。

平成20年11月22日(土)
長崎大学総合教育研究棟1階



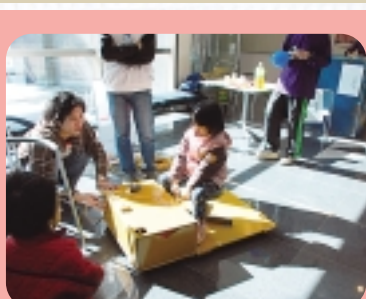
赤外線で見えなかった黒ラインの上を車が走る



超低温、マイナス196度の世界、液体窒素を体験



サーボモーターで指の動きを再現した、じゃんけんロボット



人が乗れるホバークラフト